

# 08. 近藤 たいが 大河さん

## 就業のきっかけ

出身は胆振管内厚真町で、高校卒業後は一度北海道を離れて都会で暮らしてみたいとの思いから東京の大学へ進みました。教育学を学び、社会教育主事や司書の資格を取得しましたが、やっぱり自然豊かなふるさとで暮らしたいと厚真町へ戻り、厚真町役場の臨時職員として勤務していた時に、森林組合の方から「森林組合で働かないか」と声をかけられたのがきっかけです。

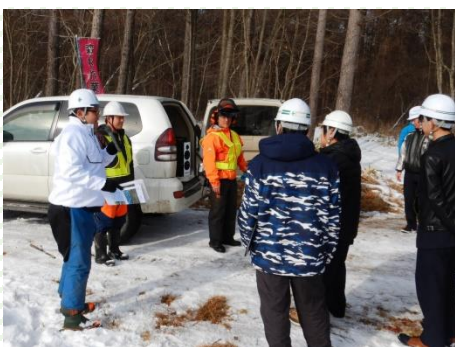
しかし、自分には林業についての知識もまったく無く、森林組合が何をするとところかもわからないため、森林組合の方や両親、祖父等からいろいろ話を聞いて、ぼんやりと森林組合のイメージはつかめたのですが、それでも、自分に務まるのか不安がありました。

そのときに祖父から、昔造林・造材業を営んでいて山頭をやっていたことや、森林を所有していて、自分で手入れもしていたという話を初めて聞いて、自分が山づくりの仕事に携わるのも何かの縁なのかと感じつつも、1ヶ月熟考した末に森林組合への就職を決めました。

## 仕事の内容

私有林等の山の整備全般を担当し、森林の境界調査や、立木調査、植栽や主伐・間伐などの森林施業を森林所有者さんへの提案や森林経営計画の立案、森林整備を実行するため作業員さんとの現地打合せ、補助事業等の書類作成など、多岐に渡りとても忙しい毎日です。

また、地域の林業関係事業体等の若手職員で構成する「胆振林業青年部」にも所属し、地域林業の担い手確保に向けた活動にも参加しています。



【地域の高校生の林業視察で現場説明】

## 仕事の大変なところ

とにかく、林業に関する知識や言葉も分からなかったため、同僚や上司に教わりながら覚えています。

また、現場へ行くのは好きなものの、自分の大柄な体格から、山の上下りが少しだけきつと感じることがありますが、趣味の空手の鍛錬と思えば・・・

一番大変と感じているのが、補助事業の書類の作成で、作成する種類も多く複雑です。



苫小牧広域森林組合

〒053-0011

苫小牧市末広3丁目8-18

苫小牧支所 業務係

年齢 28歳

勤続年数 4年

## 仕事のやりがい

人とお話をするのが好きなので、森林所有者さんや山の作業員さんと森林施業の打合せだけでなく、山や木のことを見聞きし、林業の言葉を知ったり、地域の人との繋がりが出来るところが楽しいと感じています。

また、自分が間伐や植林等の段取りをした山が、間伐や植林がされた姿を見ると、とても達成感があります。

余談ですが、作業員さんがチェーンソーで狙った方向に木を伐り倒す技術や、高性能林業機械を自分の手足のように操る姿を見ると「格好いいな～」と憧れてしまいます。



【造材作業や植栽地の現場を説明】

## 胆振の魅力

自分は、一度地元を離れて東京で生活しましたが、都会では沢山の人がに囲まれ、コンクリートに囲まれ、息が詰まりそうで、それに比べて厚真町は自然も多く、おもしろい深呼吸が出来るふるさとの良さを再確認しました。

## 林業に興味を持っている方へメッセージ

自然の中で働くのが好きな人であればとても魅力的な業界だと思っています。

やはり、聞いて・見て・やってみるのが大事だと思うので、実際にそこで仕事をされている方の話を聞いたり、見たり、インターンシップ等に参加して実際に体験してみるのが一番だと思います。